

託送供給約款届出の概要

特定電気事業者向け託送制度の概要

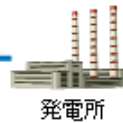
旧制度

実線:一般電気事業者
破線:特定電気事業者

自営線の保有要件は維持



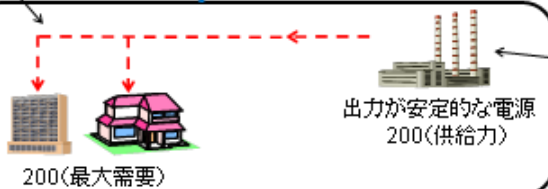
電力会社
ネットワーク



発電所

自ら所有する電源以外の
電源からは送電不可

特定
電気
事業



域内で供給力として最大需要の
100%以上対応する能力
を確保

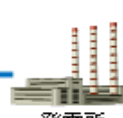
新制度

実線:一般電気事業者
破線:特定電気事業者

自営線の保有要件は維持



電力会社
ネットワーク



発電所
100(供給力)

自ら所有する電源以外でも
契約により発電事業者等
から調達することも可能。

特定
電気
事業



域内で供給力として最大需要の
50%以上対応する能力
を確保

夜間帯インバランス料金の見直しの概要

現行制度

託送における供給力の
不足分(不足インバランス)
は電力会社が供給

新制度

需要

需要

供給力
不足

契約電力の3%

3%以内単価
10.41 円

3%超過単価
夏季昼間 33.84 円
その他季昼間 32.96 円
夜間 28.06 円

供給力

3%以内単価
10.41 円

3%超過単価
夏季昼間 33.84 円
その他季昼間 32.96 円
夜間 18.71 円

供給力
不足

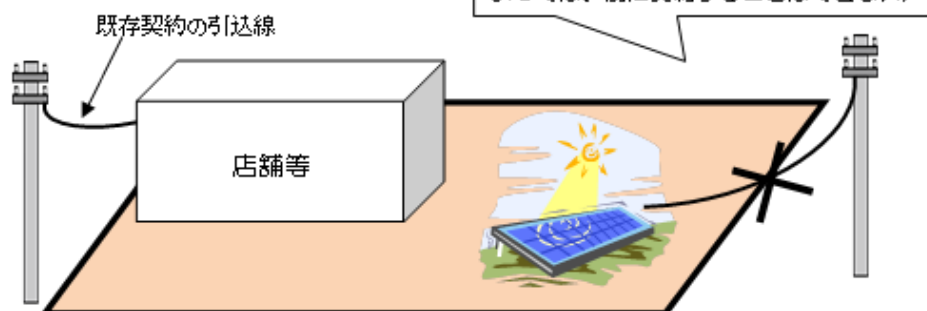
契約電力の3%

3%超過の夜間帯単価は
3%以内単価を
2倍して季別展開
した夜間帯単価

3%超過の季時別平均
単価は3%以内単価の
3倍

認定発電設備の設置に関する供給条件の概要

旧制度



新制度

